

第三表

年 次	市電一日平均乗客數		
	營業哩	乗客數	
43	3哩	56鎮	1,017
44	3	56	1,194
1	5	12	1,588
2	7	55	67,115
3	"	"	81,785
4	"	"	67,163
5	"	"	81,032
6	7	49	110,662
7	"	04	140,505
8	"	00	143,133
9	11	21	157,026
10	12	26	175,641
11	13	19	202,167
12	15	79	220,436
13	16	15	239,388
14	18	15	249,982
1	18	15	278,530
2	18	82	302,839
3			303,440

曾て本會の幹事であつて這般岩手縣知事と爲つた丹羽七郎君、政友會絕對多數の岩手で一年生知事がどう采配を振るであらうかと、與黨や野黨の狼連が鶴目鷹目で監視してゐたが、與黨の喜ぶ仕事も聽みてやる、政友派に對しても實行豫算で繰延べと爲つた仕事を全部復活してやつて、痛くも痒くもない靈糸試驗場移轉案だけを修正しただけ、そこで知事の提案に對しては兩黨から文句の附けやうが無くなつて、縣會は春日和のやうな陽氣さで無事閉會。

與黨民政黨の連中は、頭の鋭敏な才智の利く名知事を得たと有頂天に爲つて喜ぶ、政友派も亦單な道路知事ではなかつた珍しく腕の冴へた知事であつたと、背負ひ投げられたと有頂天に爲つて喜ぶと言つた調子だ、と盛岡からの通信。縣會の狀況報告に上京した丹羽知事、縣民が希望するだけの仕事を計畫してやれば文句が無い筈だ、夫れを政黨の連中が彼是れ言ふのなら勝手に言ふが可い、まだ田舎政治に牽制される程老耄してゐないよ、と氣焰當るべからずと言つた調子、名知事、大持ての一節如併(た)

### ◎丹羽知事大持て